



☎ 市民活動推進課 ☎ (93) 1117

今回から、市内在勤の外国人の方々もご紹介します。

スレイトン レイさん
(アメリカ合衆国出身・市内保育所 施設長)



Q. 富里市で保育所を始めたきっかけは？

日本の小学校に進学するお子さんにとって、英語を学ぶ機会は、放課後しかないため3歳から6歳の幼児を対象とした英語で保育する園を開園しようと考えました。

富里市で開園したのは、知り合いの方が、広さ、立地の良い場所を提供してくれたことがきっかけです。

Q. 富里市内で仕事をして初めての感想は？

自然が多く、季節の変化を身近に感じることができるいい場所だと思います。

Q. あなたの母国について、教えてください。

アメリカといっても広くて、地域によって特色があります。ロサンゼルス・トーランスの出身で、1970年代から1980年代までは日本の自動車会社があり、日本人との交流もありました。人種のるつぼで、インターナショナルな国です。

Q. 大好きなアメリカの料理を紹介してください。

七面鳥の丸焼きです。スタッフィングやクランベリーソースと一緒に食べるととても美味しいです。

Q. 多文化共生のまちづくりを実現するには、どのようにしたら良いと思いますか？

互いの気持ちや文化を受け入れることだと思います。日本のルールを守りつつ、外国人同士が自由に交流できる場を提供してもらいたいです。

消費生活
相談コラム

高齢者に多い消費者トラブル

実家に帰省したら確認を！



年末年始に久しぶりに実家などに帰省する人は、身近な高齢者が消費者トラブルに遭っていないか確認しましょう。

【事例】

- 裁判の通知はがきが届き連絡したら、弁護士から取り下げ費用を請求されてしまった。
- 契約先の関連会社と偽られて、別会社と光回線の契約をしてしまった。
- 訪問され契約した塗装工事の解約を申し出たら断られた。
- 説明をよく理解せずにスマートフォンとタブレットを契約し、高額な請求を受けた。
- 認知症の高齢者がリフォーム工事や布団など、次々と契約させられ生活に困っている。
- 被災地の漁師を名乗る男性からの電話で、魚介類を購入してしまった。

高齢者のトラブルの特徴

- 情報通信関連の相談が非常に多い。
- 高齢になるにつれ、訪問販売や電話勧誘販売の相談が増加している。

アドバイス

- 消費者トラブルは人ごとではありません。自分は大丈夫と思わず、日頃からいろいろな消費者トラブルについて知っておきましょう。
- 消費者トラブルを防ぐには、周囲の方による見守りも非常に大切です。
- 不安に思った場合やトラブルになった場合は、消費生活センターなどに相談してください。

【消費生活センター】

- 日時 月～金曜日（祝日、年末年始を除く）9：30～12：00 / 13：00～16：00
- 場所 市役所分庁舎2階（商工観光課協）
- その他 地域や団体などの希望に応じて、消費生活相談員を無料で派遣し、トラブルを未然に防止するための講座などを開催しています。



☎ 消費生活センター ☎ (93) 5348